

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会出向者の一日密着レポート

井戸事務局長の一日



Interview	6月 総会 2017年中国地区青年会議所大会へ 12日 参観 13日 参観 17日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 18日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 19日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 20日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 21日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 22日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 23日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 24日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 25日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 26日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 27日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 28日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 29日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 30日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 31日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国	
	Interview	6月 総会 2017年中国地区青年会議所大会へ 12日 参観 13日 参観 17日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 18日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 19日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 20日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 21日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 22日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 23日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 24日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 25日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 26日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 27日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 28日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 29日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 30日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国 31日 中国地区協議会 総会 参観 1日 中国

インタビュー:今年度は岡山青年会議所から公益社団法人 日本青年会議所 中国地区協議会に役員会を輩出している中、井戸事務局長は事務局として出向されていますが、率直な感想を教えてください。



井戸事務局長:率直な感想としては、色野会長が地区に馴染まれていなければ参加できなかったと思います。まず、色野会長をはじめとされます役員メンバーの皆様が本当に素晴らしい方ばかりです。LOMの理事長経験者も何名かいらっしゃいます。言葉の一つ一つが重く、学びや気づきが多い貴重な経験させていただいています。また、私は事務局としてメンバーと共に正副会議や役員会議を支援させていただいているのですが、その会議に参加することは多く承っています。中国地区協議会に出向することは凄なおことではあると思いますが、その苦労以上に学びがあり、事務局員に就任していた

いただいた色野会長には感謝しております。ありがとうございます。

インタビュー:それでは、中国地区協議会出向ではどのような活動をされていますでしょうか。
井戸事務局長:主に正副会議と役員会議の設置と運営になります。少し違うかもしれませんが、岡山青年会議所で言えば総務委員会のようなものです。昨年までは正副会議、役員会議は午前と午後の1日で開催していましたが、役員会議の議案を採択時間が少ないという意見の元、今年からは正副会議を行った約1週間後に役員会議を開催しています。客観的に見て、そこは岡山青年会議所と同じで、ある程度議案を採択時間がある方がより良い事業計画書が出来上がるように思えます。また、京都府やサマーコンファレンスでの中国地区サイトの設置やJ-ASPAC クラウンパトル大会「ジャンパナイト」でブースを出展しました。そして、9月8日、9日と中国地区



コンファレンス2017が開催されますので今はその準備で忙しんでいます。



インタビュー:岡山青年会議所との違いを大きく感じる点があれば教えてください。

井戸事務局長:他のLOMが高いというわけではないですが、礼節、礼節の部分が岡山青年会議所は徹底していると感じます。やはり、岡山青年会議所はひとつとつくりである会員研修委員会があるからだと思います。本多総務幹事が前回の報告レポートで仰っていましたが、私も地区に行く時は温泉街が出ないように高い意味で厳めに活動しています。他のLOMの良いところを学び、そして岡山青年会議所の良いところを伝えるようにバランスをとっています。



インタビュー:場所は遠くどやはり同じような立場で出向されると似たような意見になるのでは。そこでは今後の参考にとして大変だったことを少し教えてください。

井戸事務局長:やはり一番大変であったのは移動です。新幹線や電車といった移動手段があれば良いのですが、新幹線、電車の後はバスしか移動手段がない場所も沢山ありました。ですので、基本は車移動で、4、5時間移動は当たり前という世界です。大抵移動が、もしくは午前中に出勤しないという高規格に合いません。総務部長が各LOMの青年記念式典に出発する場合は、1日目が役員会議、2、3日目は青年記念式典ということもあって、決してスケジュール管理には特に苦労しました。しかし、質問した分、色々な人に出会い、各LOMの文化に付いたことで学べることは数え切れないくらいありました。本当に事務局員として付けて良かったと思います。



インタビュー:最後に、今後出向する可能性があるメンバーに何かアドバイスがありましたら教えてください。

井戸事務局長:やはり、スタッフとして出向することをお勧めします。私が経験して思うことは、当事者意識を学ぶ分ける量が多いです。私も日本青年会議所にフロアとして出向したことがありますが、当時と比較すると現在の学んでいく量は比べられません。人の繋がりが強くも変わってくると思います。フロアとして出向することも悪いとは思いますが、もしチャンスがあればスタッフとして出向していただき、人との財産になるような苦しみも楽しい経験をしていただけたらと思います。



Profile

井戸 啓太(いど けいた)

昭和53年5月2日 2014年度岡山県岡山青年会議所へ入会。本年現LOM内で、会員交流渉外事務局副委員長として活動。

キッズスポーツフェスティバル2017 サッカー編



昨今の子供のスポーツ熱、運動能力の低下が問題視される中、トップクラスの技術に触れることで、スポーツを始めるきっかけづくりをすることを目的に、ファジアーノ岡山にご協力いただき「キッズスポーツフェスティバル2017サッカー編」を開催しました。梅雨をのれさせるような好天の中、2000人の児童が参加しました。またファジアーノ岡山からは選手6名と10名のコーチ、今回は岡山大学サッカー部の学生10名にも協力をいただいていた開催となりました。準備段階では、春夏と意思のピッチを駆け回るという貴重な経験もさせていたが、サッカー教室では現在の選手やコーチが丁寧に参加者にサッカーの基礎から指導していただき、熱心に練習をしていました。大サッカーゲームでは、2000人の参加者全員が一度にピッチに入り、教わった技術を存分に発揮していました。ピッチ中にたくさんボールを入れ、必死になってボールを追いかける参加者の姿と、その笑顔が印象的でした。そして閉会式では選手と選手から熱いエールをいただき、此天下での開催になりましたが、会場中が笑顔であふれ、大きなトラブルもなく無事終了することができました。また事業後の公式戦には多くの参加者が観戦を選び、スポーツの楽しさを伝えることができたのと同じに、岡山で活躍するチームの誇りを感じていただけたことと思います。事業当日は公式戦前のピッチを借りての開催だったため、事業後半ではサポーターが入場した中で、多くの市民に青年会議所の事業を見ていただける機会となりました。また事業後もテレビ局3社に事業の模様を放送していただき、公益性を兼ねた事業を実施することができました。この事業を通してスポーツを始める子供が1人でも多く増えることを期待しています。参加者の皆様、ご協力いただいたすべての関係者の皆様、本当にありがとうございます。



まちづくり室 スケアリング・創造委員会 副委員長 高山 真一

第46回大阪青年会議所・岡山青年会議所交流会



6月21日(水)に「第46回大阪岡山交流会」が大阪の地で開催されました。当日は大阪青年会議所様の心遣いのおかげもあり、盛況をさせていただきました。有意義な交流会となりました。初めに「イオンコンパス大塚駅前3ビル」の会議室にて岡山青年会議所、大阪青年会議所の挨拶報告を行いました。岡山青年会議所からは本年度開催をいたしました、「まちづくり事業」を中心とした事業報告・事業説明をさせていただきました。大阪青年会議所からは、「いんぱく」前夜祭、「グローバルリーダーシップ養成事業」、「まちづくり事業」などの事業報告・説明をしていただきました。プレゼンテーションをおこない互いの事業に共感を持ち素晴らしい意見交換ができました。交流会では大阪青年会議所ならではの心遣いもあって学びが豊かになりました。今後お互いから受贈りいただく交流会を継続的に共に切磋琢磨できる会となるよう両青年会議所が企画した交流会となることができました。

会員交流室 渉外委員会 副委員長 藤 和哉

サマーコンファレンスLOMナイト



7月22日(土) サマーコンファレンス後にLOMナイトを開催いたしました。今回のサマーコンファレンスLOMナイトは例年の出向者懇話会を加味しない設定となりましたが、多くのLOMメンバーにお越しいただくことができました。新しい試みとして30・10運動を行い、食への減少に等する事だけでなく、その時間に関心のメンバーとの会話を多くすることができ、新たな絆ができたのではないかと考えております。また、サマーコンファレンスのファンクションの告知を徹底できれば、LOMナイトでも多くのファンクションの内部や出向者の会話が個人だけではなくかと思っております。下半期の事業でもメンバー同士の交流がさらに加えられ、より一層絆を深める事ができるように設定を行っております。

会員交流室 交流推進委員会 副委員長 岡 隼弘

事業報告

第24回うらじゃ2017



9月5日、6日の二日間、真夏の晴天のもと、第24回うらじゃが盛大に開催されました。当社は、約3,500人もの参加者、観覧者が集い、1.3万もの盛り立て、7万人の集客の予定より、今年もうらじゃの集客が過去最高水準で実現されました。集合されていた分厚い観衆も盛り、大きな盛り上がりや熱狂的な大きな反響もなく、無事成功の裏に終えることが出来ました。これも、ひとえに第24回うらじゃを応援してくださったお客さまの皆様、親ゆず、親お、おろちんクラブとして応援していた若い企業スタッフの皆様のご支援、ご協力のおかげであると感じ申し上げます。

今年のまちづくり委員会では、うらじゃ実行委員会事務局連合として行政やマスコミ、関係団体、学校、商社、調理師、ボランティアとの連携と連携強化としての取組はもたらしたものと、これまでよりさらに広がり深まりのなかつた範囲で展開される企業支援やボランティアスタッフ応援の取組も進められています。また、SNSでの拡散やポスターやグッズ作成、市民の積極からの多大な応援と新アイテムの次々と発表も進められました。こういった取組が、岡山県を会場にする市民の皆様からのご理解や応援も支えにつながっていくと信じております。これらも岡山県青年会議所が、中心的存在を担って、共感の輪を広げていきます。

また、うらじゃを観光地において仕掛けの拠点での教育現場への普及活動に加え、プロスポーツチームとの共同事業としてアジアアムステルダムホームゲームでのうらじゃキッズを行いました。今後うらじゃを通じて人と人が集まり、親とお客さまを繋ぎあえるまちづくりを継続していくためには、若い世代への普及拡大が大きな課題だと感じています。

当社は、創業開始となる25周年を迎え、国内外のこれまで以上に注目と期待をされるうらじゃになると思われま。これからも、岡山県青年会議所が中心の取組が興り続けることとお客さまのまちづくりを牽引していきます。

まちづくり部 まちづくり委員会 委員長 早川信之



事業報告

第24回うらじゃ2017



事業報告

第4回キッズビジネスパーク2017
～だれかのために！で広げるおかやま～

事業報告



今年で4度目を迎えた本事業は、岡山市や岡山市教育委員会をはじめ、多くの皆さんに注目をされており、岡山青年会議所としても本年度のコンセプトを表現する絶好の事業ということで、会場開始からLDM一丸となって本事業に打ち込んでまいりました。先生と親以外の大人と接する機会が少なくなり、職業に触れる機会も減少し、子どもが将来の夢を具体的に描く事が難しくなっている中、職業体験を行い様々な職業を見ていく事で、自分が思い描く未来や進みたい職業、就きたい職業を考えていただく機会を提供することを目的に、本年度のキーワードである「拡張性」を業種しながら、我々の事業に対する思い

をどれだけ多くの皆さんに広め、機会にない層様で、様々な団体と「協働して行える、岡山の青少年育成事業にすることをまず目標に掲げました。期様の協働により会場はコンベックス岡山で開催し、参加児童数1,007名、来場者数6,216名、出展ブース数54ブース、協力企業42社（4PRブース12社）、協賛企業42社、協力校5校、ボランティア数168名という、すべての項目が過去を上回る実績で、岡山青年会議所としても期を長い規模で開催することができました。また、新しい取り組みとして、岡山で活躍するNPO法人やボランティア団体等、まだ活動や名前が浸透してはいないもの、私たちと同じように信念を持って活動している団体の協働PRを目的に、12団体のPRブースを設け、活動のお手紙をさせて頂きました。当日、会場どのブースも子どもたち・企業・ボランティアの皆さんの笑顔と活気が溢れ、大満足にて幕を閉じることができました。本事業を新たなきっかけとし岡山青年会議所が岡山のまちづくり・ひとづくりを牽引していけるよう奮励し、より多くの人々を巻き込みその輪を拡張させていけるよう頑張りたいと思います。ご協力頂きました全ての皆さまに感謝申し上げます。

まちづくり室 スケラビリティ創造委員会 副委員長 矢野 大輔

